

第2部

達成度報告と業績計画

1. 政策テーマと施策テーマの設定

本格的なモータリゼーションに対応した道路整備が始まって半世紀、厳しい経済情勢の中、これまでのストックの有効活用の徹底や急速なストックの高齢化に対応しつつ、道路の果たす役割を最大限に発揮するよう、以下の3つの観点を基本に、道路行政の原点に立ち戻った改革を推進する。

1. 集中的にスピード感をもった道路行政への転換
2. 沿道地域との一体整備など他分野との積極的な連携
3. 住民や地域の方々との協働

本稿では、その際に重点的に取り組む分野としている7つの分野（政策テーマ）と23の施策テーマを設定し、施策の背景・必要性、平成18年度の達成度及び平成19年度の業績計画を記述する。なお、フォローアップテーマである施策19～23については、記載内容にメリハリを付けるため、業績指標の動向を中心に1頁程度で簡潔に記述する。

政策テーマ	施策テーマ
I. 国際競争力の強化	〈施策-1〉 ●国際水準の物流ネットワークの戦略的な構築
II. 地域の自立と競争力の強化	〈施策-2〉 ●効果的な渋滞対策の推進
	〈施策-3〉 ●利用者の視点に立った路上工事縮減
III. 安全・安心の確保	〈施策-4〉 ●災害時の緊急活動を支援する救援ルートの確保
	〈施策-5〉 都市基盤の整備による市街地の防災性向上
	〈施策-6〉 ●幹線道路における事故抑止と生活道路における安全・安心な歩行空間の確保
	〈施策-7〉 踏切対策のスピードアップ
IV. 豊かな生活環境の創造	〈施策-8〉 CO2削減アクションプログラムの推進によるCO2削減
	〈施策-9〉 ●バリアフリー化による安全・快適な歩行空間の創出
	〈施策-10〉 ●無電柱化による都市景観向上
V. 既存ストックの長寿命化	〈施策-11〉 ○適切な道路管理による道路構造物の延命化
VI. 高速ネットワークの効率的活用・機能強化	〈施策-12〉 ○高速道路の利用促進による道路網の機能向上
	〈施策-13〉 ○ETC普及による渋滞の低減
	〈施策-14〉 高速道路の適正な管理水準の確保
VII. 道路施策の進め方	〈施策-15〉 事業進捗管理の強化による事業効果の早期発現
	〈施策-16〉 事業の最適化によるコストの縮減
	〈施策-17〉 双方向コミュニケーション活動による道路サービスの充実
	〈施策-18〉 ITSの推進による安全で快適な道路交通の実現
VIII. フォローアップ対象テーマ	〈施策-19〉 ●地域間交流・観光交流等内外交通の推進
	〈施策-20〉 安全かつ快適な移動を実現するための道路整備
	〈施策-21〉 ルート番号表示によるわかりやすい誘導
	〈施策-22〉 ●夜間の自動車交通による騒音の低減
	〈施策-23〉 ●局地対策による大気環境の改善

※ 施策名の前に●印のあるものは、社会資本整備重点計画の第2章に位置づけられた指標と関係があり、社会資本整備審議会・交通政策審議会計画部会においてフォローアップ

※ 施策名の前に○印のあるものは、社会資本整備重点計画の第3章に位置づけられた施策と関係があり、●印のある指標と併せ、国土交通省政策評価基本計画に基づき省議においてフォローアップ

